

個人山行／秋田駒ヶ岳（1,673m）

【日程】2014年7月8日

【エリア】秋田県田沢湖高原

【形態】ハイキング

【メンバー】梅屋

【報告】梅屋



《ルート／タイム》

7月 8日 8合目小屋 (10:00) ～片倉岳展望台～ (10:55) 阿彌陀池 (11:05) ～ (11:20) 男岳 (11:25) ～ (12:00) 馬場の小路・昼食 (12:15) ～ (12:30) 国見温泉分岐～大焼砂～ (13:30) 横岳 (13:45) ～焼森～ (14:25) 8合目小屋

《報告》

7月15日

■阿弥陀池から男岳

秋田駒は、自分にとっては思い出多い山である。今から44年前の昭和45年9月に女岳が噴火した際、秋田駒の麓に位置する「乳頭温泉郷」の国民宿舎でこの噴火に遭遇したからである。どーんという不気味な音と共に真っ赤な火柱が夜空に打ち上がる様子が今でも鮮明に思い出される。今では、標高1305m地点の8合目まで道路が開通し、手軽に行ける山となり、訪れるハイカーも多い（マイカーは規制されバスが運行）。8合目からは、良く整備された新道コースを約50分で阿弥陀池に到着。この池の湖畔には避難小屋が建てられており、横岳、男女岳の稜線と池のコントラストはとても美しく女性に人気がある。秋田駒のピークは、この男女岳（1,637m）だが、後のルートを考えて、カルデラ外輪山のピークである男岳（1,623m）を目指して急坂を上がる。男岳からは、噴火した女岳（1,512m）や同じ外輪山の横岳（1,583m）が、目を下に転ずれば、高山植物が咲き乱れる「馬場の小径」（ムーミン谷）が望まれる。

■高山植物の群落

秋田駒を訪れる人が多いのは、山容の美しさと利便性のほかに、高山植物の豊富な山であることと云われている。男岳から横岳のコルまで下り、外輪山尾根をムーミン谷まで一気に下る（男岳へ上がる登山者の落石が怖かった）。今年の6月1日の山開き当日、秋田県山岳会のパーティーがこの雪壁で滑落し、下部にいた別の登山者を巻き込み1名が死亡、数人が怪我をしたと聞いた。

さて、秋田駒の花は8合目から阿弥陀池までも多く出会えるが、ムーミン谷から焼砂、横岳まではとくに群落を形成していた。ニッコウキスゲやチングルマ、ミヤマキンバイ、ヒナザクラのほか、シラネアオイと圧巻はコマクサの大群落である。とくに大焼砂一体は、形は小さいがコマクサに覆われ、可憐なピンクの花が群舞していた。尾根に上がって外輪山を右に折れると、秘湯で著名な国見温泉に行き着くとかで、登山者も多く下山していた。

ここからは、横岳まで登り返し、右に折れて焼森のピークを経て8合目へとかけ下ったが、この山のもう一つの見所である「田沢湖」は、遂にその姿を見ることはなかった。今回は、田沢湖高原温泉の民宿に泊まったが、今回は、国見温泉若しくは、鶴の湯などの乳頭温泉に泊まって見たい。



阿弥陀池（横岳コルより）



男女岳



男岳ピーク



男岳よりムーミン谷



横岳コルよりムーミン谷へ下る



大焼砂のコマクサの群落